



## クルーズ船受入環境の改善 (和歌山下津港、新宮港)

“世界遺産地域 紀伊半島”の海の玄関口！  
～インバウンド誘致を促進～

### 貨物専用岸壁を有効活用したクルーズ船の受入環境整備

- ✓ 新宮港では、波を穏やかにする防波堤と未舗装だった荷捌き地を整備。大型クルーズ船の入港が実現。



紀南地域の物流と観光の拠点

- ✓ 和歌山下津港では、既存の貨物専用岸壁を有効活用し、背後の施設をリニューアル。クルーズ船の受入拠点化を推進。



地域経済を支える物流・産業の拠点



<出典> 2017～2019、2022: 近畿地方整備局調べ、2023(予定): 新宮市HPより



<出典> 2017～2019: 和歌山県公表資料、2024d(目標): 第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略より

### 観光客の誘致への期待

- ✓ 高規格道路の整備も進捗しており、クルーズ船寄港地背後の観光圏域拡大による相乗効果※に期待。  
※クルーズ船(500人乗り)1寄港あたり域内消費額が約1,000万円増加。

